

令和8年度岡山県学力・学習状況調査業務
委託仕様書等に対する質問・回答

2026/4/24

	質問内容	回答
1	「仕様書 7 本調査の実施について (3) 学力調査機能 イ」について、解答所要時間機能とは、受検者が残り時間を把握するための機能ですか。もしくは、それぞれの問題の解答にどの程度時間がかかったかを管理者側が把握する機能でしょうか。	問題の解答にどの程度時間がかかったかを管理者側が把握する機能を想定しています。
2	「仕様書 7 本調査の実施について (4) 学習状況調査機能」について、質問ならびに選択肢は貴委員会で作成されるとの認識で間違いございませんか。内容は学年ごとで異なりますでしょうか。また、各学年の質問数はどのくらいの予定ですか。	ご認識のとおり質問、選択肢は当県で作成します。質問内容は、小学校用と中学校用の2つ、質問数はともに40問程度の予定です。
3	「企画提案実施公示 2 企画提案に参加できる者の資格 (9) ②」について、本業務の規模(全県レベル)やCBT方式への完全移行という点から、“大規模自治体におけるCBT方式を用いた調査の運用実績”を対象とされるとの認識でよろしいでしょうか。	企画提案実施公告2(9)②では、国・自治体かどうかは問いません。民間企業・諸法人等でCBT方式を用いた調査の運用実績でも構いません。
4	「企画提案実施公示 6 企画提案 (1) 提案書の提出③」について、提出する書類に正本と副本の区別は必要でしょうか。必要な場合、副本には社名や商品名をマスキングする必要がありますか。会社概要はパンフレットを提出予定のため、マスキング作業が難しい内容となっております。	正本、副本の区別をする必要はありません。
5	「企画提案実施公示 6 企画提案 (2) 企画提案書の説明」について、説明する際の参加人数に制限はございますか。また、対面参加とオンライン参加の併用は認められますか。	参加人数は3名までとし、実施方法は対面のみを予定しています。詳細については、参加資格確認後、通知します。
6	「提案評価基準 6 その他」について、“経費見積書の内容は妥当性があるか”とありますが、提案金額を用いた算定方式など、開示可能な評価の観点はございますか。	経費見積書の額は評価項目の1つであり、その額を元に評価を行うため開示できるものではありません。